

5. 地域医療教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2021年（令和3年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

○ 和漢医薬学入門

- ・学部生を対象として、日本で唯一の和漢医薬総合研究所を同じキャンパスに有する利点をいかし、東洋医学に基づく医療を実践するための知識や技能を修得する和漢医薬学入門を開講した。

○ 東洋医学概論

- ・学部生を対象として、附属病院で和漢診療科の担当医師から病態の認識方法や治療概念が大きく異なる東洋医学と西洋医学の調和を推進するための漢方医学の考え方、疾患概念、代表的な漢方薬の適応、副作用の注意事項などについて学ぶ東洋医学概論を開講した。

<名古屋市立大学>

○ コミュニティヘルスケア卒前教育プログラム

- ・学部生を対象として、医療系学部（薬学部・医学部・看護学部）連携教育プログラムを実施した。
- ・本プログラムは、本学多職種連携教育の一環として地域医療に貢献する医療人材育成を目的とした学部横断型の授業である。薬学部1年生から6年間で順番にプログラム授業を10単位修得するとプログラム修了証書が大学から発行される。

<九州大学>

○ 薬局実務実習における在宅医療実習

- ・学部生を対象として、薬局実務実習において在宅医療や終末期医療に関する実習を実施することにより、社会のニーズに応える高度な地域医療を担うことができる高度先導的薬剤師の養成を図った。

<熊本大学>

○ 感染症医療人材養成事業

- ・学部生を対象として、パンデミック下での大規模災害時に医療従事者が行うべき感染対策を討議・学習する3学科（医学部医学科、保健学科、薬学部薬学科）合同実習を実施した。シミュレーターを用いた薬学部生のワクチンの調製・投与（筋注）に関する実習を行った。

2) その他（大学としての取組等）

<千葉大学>

○ 実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム

- ・平成24年度～28年度文科省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組として実施していたプログラムを継続して実施した。千葉県内3薬科大学が特徴的に有する教育プログラムを相互に受講できるプログラムである。

<金沢大学>

○ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成：北信がんプロ【連携】

- ・大学院生を対象として、文部科学省の大学間連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」の養成を図った。
- ・我が国におけるがん医療の推進を目的としており、国公立の7大学（金沢大、富山大、福井大、信州大、金沢医大、石川看護大）で県の枠を超えた北信地域での戦略的がん医療人育成システムの構築を目指すものである。
- ・薬学系では、大学院生・薬剤師を対象とした教育プログラムを実施した。